



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 フクシマガリレイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6420 URL <https://www.galilei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 福島 豪  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管理本部長 (氏名) 日野 達雄 (TEL) 06-6477-2011  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,807	11.9	3,134	85.7	3,676	58.4	2,638	66.8
2023年3月期第1四半期	23,069	3.3	1,688	△38.3	2,321	△22.7	1,582	△22.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,019百万円(104.9%) 2023年3月期第1四半期 1,473百万円(△26.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	131.52	—
2023年3月期第1四半期	78.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	112,671	81,461	72.2	4,056.70
2023年3月期	112,997	79,907	70.7	3,979.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 81,390百万円 2023年3月期 79,834百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 73.00	円 銭 73.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	73.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,462	4.1	4,703	4.5	4,786	△14.1	3,245	△16.4	161.76
通期	103,047	△1.9	10,066	△12.4	10,375	△15.6	7,115	△17.8	354.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	22,066,160株	2023年3月期	22,066,160株
2024年3月期1Q	2,003,069株	2023年3月期	2,003,002株
2024年3月期1Q	20,063,113株	2023年3月期1Q	20,036,320株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されるなど社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要の持ち直しの動きがみられました。一方で、エネルギーコストや原材料価格の高騰による消費者物価の上昇や、世界的な金融引き締め等により、引き続き先行き不透明な状況にあります。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、エネルギーコストや原材料価格の高騰、人手不足の影響を受けつつも、コロナが5類感染症に見直されたことで外食需要やインバウンド需要は回復傾向が続いています。流通産業では、家庭の電気・ガス代高騰等による節約志向の高まりで内食需要が堅調ですが、店舗のエネルギーコストや原材料価格の高騰により、設備投資について慎重な傾向がみられ、先行き不透明な状況にあります。また、食品製造業界では、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響を受け、食品メーカーを中心として設備投資に慎重な傾向がみられ、先行き不透明な状況にあります。尚、低温物流業界では、物流の2024年問題と総称される自動車運転業務における労働時間の上限規制に対応するため、物流拠点の見直し等による建設需要が継続しております。

冷凍冷蔵庫販売では、店舗での食品加工やテイクアウトの需要が落ち着きを見せ、プラスチックや冷凍冷蔵ロッカー等高単価商品の売上は減少しましたが、外食産業の需要回復に合わせて飲食店および宿泊施設向けの汎用冷凍冷蔵庫の売上が増加したことなどにより、売上高は58億8千6百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

医療・理化学製品販売では、薬用保冷庫の調剤薬局向け販売が増加傾向にある一方で、病院・クリニック向けの販売が減少したことなどにより、売上高は2億6千6百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、前年同四半期は発泡剤不足による受注制限の影響で売上が減少しましたが、今年は流通産業の一定需要に応えることが出来たため、スーパーマーケットやドラッグストア向けの販売が回復しました。また、コンビニエンスストア向けの自然冷媒を採用したショーケースの販売が引き続き堅調に推移したため、売上高は114億2千6百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

大型食品加工機械販売では、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響を受け、食品メーカーを中心に設備投資について慎重な傾向がみられたことに加え、前年第4四半期に物件が集中し今年の物件が少なかったため、売上高は7億7千5百万円（前年同四半期比60.0%減）となりました。

大型パネル冷蔵設備販売では、物流の2024年問題を背景に低温物流拠点の需要は堅調に推移していますが、コンビベンダーや食品工場の設備投資が落ち着きを見せたため、売上高は25億4千2百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

小型パネル冷蔵設備販売では、前年同四半期は発泡剤不足による受注制限の影響で大きく売上が減少しましたが、今年は各産業の一定需要に応えることが出来たため、スーパーマーケットやホテルのバックヤード向けの売上が回復したことなどにより、売上高は20億4千8百万円（前年同四半期比87.3%増）となりました。

サービス販売では、スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの冷凍冷蔵ショーケースのメンテナンス、保守契約の売上が増加しました。また、外食産業の需要が回復し冷凍冷蔵庫等のメンテナンスの売上も増加したため、売上高は28億6千1百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

製造部門においては、原材料価格は依然として高騰しておりますが、影響を軽減すべくさらなる生産性の向上や、代替部材使用の検討等に取り組んでおります。また、2023年3月にショウケンガリレイの新社工場を建設しさらなる受注拡大に向け生産体制を整備し、6月には岡山工場に新棟を建設し高付加価値製品の生産性向上に取り組んでおります。

ガリレイグループでは、2021年にサステナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2050年までに食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることに取り組んでおります。また、「グリーン冷媒への転換」「環境性能の高い製品を開発・提供」「冷媒ガス漏洩防止」のアクションを戦略的に推進し、バリューチェーン全体のCO2排出量削減に取り組むことで、環境先進企業として価値を提供してまいります。2022年に開発・上市した自然冷媒採用大型コンデンシングユニット「NOBRAC」を積極的に提案しております。また、リーチインショーケースはノンフロン冷媒仕様機種をバリエーションに追加し、その他製品についても計画的に地球温暖化係数の低い冷媒に切り替えております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は258億7百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業利益は31億3千4百万円（前年同四半期比85.7%増）、経常利益は36億7千6百万円（前年同四半期比58.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億3千8百万円（前年同四半期比66.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は790億1千1百万円(前連結会計年度末は805億6千1百万円)となり、15億5千万円減少しました。これは主として受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は336億5千9百万円(前連結会計年度末は324億3千5百万円)となり、12億2千4百万円増加しました。これは主として建物及び構築物が増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は297億6百万円(前連結会計年度末は314億7千1百万円)となり、17億6千5百万円減少しました。これは主として未払法人税等が減少したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は15億3百万円(前連結会計年度末は16億1千8百万円)となり、1億1千4百万円減少しました。これは主として繰延税金負債が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は814億6千1百万円(前連結会計年度末は799億7百万円)となり、15億5千4百万円増加しました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、2023年5月10日公表の予想数値の修正は行っておりません。

なお、材料費・エネルギー価格高騰による影響は依然として不透明であるため、連結業績予想につきましては、今後の世界経済の状況等によって変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,392	45,587
受取手形、売掛金及び契約資産	19,653	18,165
電子記録債権	5,380	5,378
商品及び製品	3,072	3,167
仕掛品	1,396	1,828
原材料及び貯蔵品	4,068	3,856
その他	759	1,197
貸倒引当金	△162	△169
流動資産合計	80,561	79,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,156	9,145
機械装置及び運搬具（純額）	1,352	1,297
土地	7,047	7,393
その他（純額）	1,469	803
有形固定資産合計	18,025	18,640
無形固定資産	649	637
投資その他の資産		
投資有価証券	9,118	9,618
繰延税金資産	188	201
退職給付に係る資産	255	246
その他	4,311	4,439
貸倒引当金	△113	△124
投資その他の資産合計	13,760	14,382
固定資産合計	32,435	33,659
資産合計	112,997	112,671
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,760	19,599
未払法人税等	2,644	1,458
賞与引当金	2,231	3,393
製品保証引当金	468	412
工事損失引当金	36	36
その他	5,329	4,805
流動負債合計	31,471	29,706
固定負債		
繰延税金負債	121	—
役員退職慰労引当金	24	19
長期末払金	1,244	1,244
退職給付に係る負債	127	138
資産除去債務	86	86
その他	13	13
固定負債合計	1,618	1,503
負債合計	33,089	31,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,222	3,222
利益剰余金	72,318	73,492
自己株式	△3,172	△3,173
株主資本合計	75,127	76,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,536	4,866
為替換算調整勘定	123	187
退職給付に係る調整累計額	47	35
その他の包括利益累計額合計	4,706	5,088
非支配株主持分	73	71
純資産合計	79,907	81,461
負債純資産合計	112,997	112,671

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	23,069	25,807
売上原価	17,699	18,581
売上総利益	5,370	7,226
販売費及び一般管理費	3,682	4,091
営業利益	1,688	3,134
営業外収益		
受取利息	6	39
受取配当金	41	41
受取家賃	28	24
仕入割引	31	37
為替差益	494	373
その他	85	96
営業外収益合計	688	613
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	34
支払補償費	10	4
和解金	22	—
その他	22	31
営業外費用合計	55	71
経常利益	2,321	3,676
特別利益		
固定資産売却益	—	97
特別利益合計	—	97
税金等調整前四半期純利益	2,321	3,773
法人税、住民税及び事業税	950	1,383
法人税等調整額	△209	△244
法人税等合計	740	1,138
四半期純利益	1,580	2,634
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,582	2,638



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,580	2,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156	330
為替換算調整勘定	58	66
退職給付に係る調整額	△9	△11
その他の包括利益合計	△106	385
四半期包括利益	1,473	3,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,472	3,020
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。